

令和 4 年度 自ら学び 自ら考え 自ら行動する子を育てる



松林小だより



令和5年 3月 24日 春休み 号

茅ヶ崎市立松林小学校 校長 平木 恵美

子どもたちの成長に喜びを感じて

桜が今にも開花しようとする中、3月17日に松林小学校から150名の卒業生が旅立っていきました。1、2年生が育てたパンジーが並び、壁面には1年生から5年生までの作品が飾られた温かな会場の中で、堂々と証書を受け取る6年生の姿に6年間の成長を感じました。美しい歌声は会場内に響き渡り、聞いているすべての人たちの心まで届くものでした。

さて、3月は様々なところで感謝を伝える子どもたちの様子が見られ成長を感じました。



松林田んぼ感謝の会

まず、3月8日「松林田んぼ感謝の会」がありました。24年間続いた米作り活動の締めくくりとして、活動にご協力いただいた方々をお招きして感謝の会を開きました。事前に各学年・クラスでビデオ撮りしたものを流し、感謝を伝えました。さらには、5、6年生の代表が、感謝の手紙と今年収穫したお米をお渡しました。お米の袋のパッケージは1年生みんなが描いた絵とメッセージを張りました。いらした方々は本当に喜んでくださりました。

見守り感謝の会

3月14日は、地域の方々に感謝を伝える一日でした。まず1時間目、2年生からは日々見守りをしてくださっている方々をお招きし、校庭で運動会のダンスを披露しました。このところ運動会に地域の方々をお招きすることができていないので、自分たちのダンスをお見せしながら、感謝の気持ちを伝えました。



その後2時間目は、3年生の各クラスで見守りの方たちをお招きし、感謝の会を行いました。一人一人に招待状を書き、クラスごとで考えた感謝の会を行っていました。地域の方々も笑顔で子どもたちとの活動を楽しんでくださいました。

そして、3時間目は5、6年生で執り行う引き継ぎ式に参列していただき、子どもたちの成長の様子を参観していただきました。

この3月に向けて先生と子どもたち、友達同士、異学年の仲間…互いに感謝の言葉を伝え合い一年を締めくくることをテーマに、子どもたちにも「感謝の気持ちを伝えよう」と呼び掛けてきました。

子どもたちは、様々な場面を通じて感謝の気持ちが伝えられていたように思います。そして、その言葉を伝える中で、さらに成長をした姿がありました。その姿は、今年度の4月にそれぞれの心の中に蒔いた種が3月に開花したように感じられました。

最後になりますが、日々、いろいろな思いを抱えながら家に帰る子どもたちを受け止め、寄り添い前向きな言葉をかけ支えてくださっている保護者の皆様、日々子どもたちの心身の安全を見守ってくださっている地域の皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。



6年生の卒業を前に大きな式が行われました。

引継ぎ式 5、6年生が顔を合わせ、引継ぎ式を行いました。それぞれ歌や呼びかけを送りました。ともに歌い上げた合唱曲「COSMOS」の美しい歌声が体育館に響き渡りました。引継ぎ式をもって、6年生から5年生にバトンがしっかりと渡されました。

6年生を送る会

3月16日全校児童が校庭に出て送る会を行いました。一年生代表が感謝の気持ちを伝えた後に、六年生の代表がそれぞれの学年に贈った言葉は心に響くものでした。在校生が別れを惜しむ中、6年生は、花道を笑顔あり、涙ありのとても素敵な表情で退場していきました。

こういった式を通して、子どもたちはつながり、成長し、128年間松林小学校のよき伝統が引き継がれていくことを感じました。

